

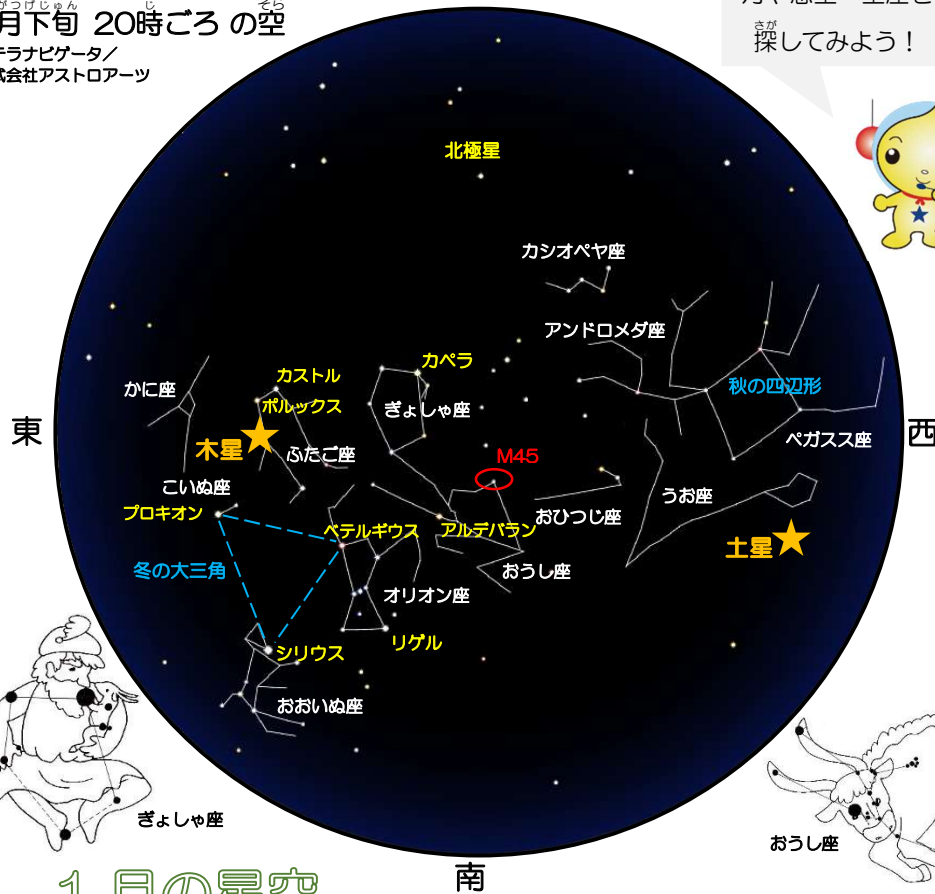
月刊 星空の散歩道 1月号

2026年

1月上旬 21時ごろ
1月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

月や惑星・星座を
探してみよう！



1月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に秋の星座が見え、南と東の空に冬の星座が見える。

- < 西 > ペガサス座、アンドロメダ座
- < 天頂 > おうし座 (アルデバラン)、ぎょしゃ座 (カペラ)
- < 南 > オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)、おおいぬ座 (シリウス)
- < 東 > ふたご座 (カストル、ポルックス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

1月4日 しぶんぎ座流星群

三大流星群のひとつ。ピークは 4 日 6時頃と予想されていますが、ほぼ一晩中、月が見え、条件はよくありません。

1月10日 木星が衝

地球から見て木星がちょうど太陽の反対側にくるので、一晩中、木星が見られます。

1月23日 月と土星が並ぶ

日没後の西の空で、細い月と土星がとても近づいて見えます。

☆月の形の変化☆

1月 3日	満月	○
1月 11日	下弦	◐
1月 19日	新月	●
1月 26日	上弦	◑

☆1月の惑星☆

土星…日没後、西の空
木星…日没後、東の空

<天文コラム> M45

おうし座にある M45 (プリアデス星団) は星の集まりで、星がよく見えるところでは肉眼で 6~7 個くらい数えることができます。日本では昔から「すばる」という呼び名で親しまれており、これは「ひとつにまとまっている」という意味の「すまる」が語源になっていると考えられています。双眼鏡で M45 を見ると、より多くの星が見られます。このように星が集まっている天体を散開星団と言います。

星は一つずつ生まれてくるのではなく、数十個、数百個の星がまとまって誕生し、時間の経過とともに散り散りになっていきます。M45 の星々は、生まれてからまだ数千万年しか経っておらず、太陽は現在約 50 億歳で、後 50 億年ほどの寿命があることを考えると、はるかに若いと言えます。しかし、M45 の星々の多くは高質量で、輝く元となる水素を一気に燃やし尽くし、1 億年以内に最期を迎えるという「短命の星々」でもあるのです。

機会があれば、双眼鏡で狭い範囲に星々が密集している M45 を探してみてください。



M45(当館職員撮影)

